



会長 小野寺 伸 浩
幹事 及 川 昭 宏
会報 猪 股 育 夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2774回例会 2021. 3. 18 No.31

本日の出席率

・本日の出席率 100%

ニコニコボックス

- ・及川昭宏幹事 遠藤前南三陸副町長を歓迎します。
- ・阿部泰彦会員 遠藤前南三陸副町長をお迎えして。
- ・村上武彦会員 ゲストに遠藤さんをお迎えして。三陸の皆さんよく頑張りましたね。これからも頑張ってください、応援しています。あと一息です。三陸人は強い。奈良の東大寺お水取りも終わり、いよいよ春本番です。また行きたくなりました。
- ・飯塚仁哉会員 戦前より西の明石（兵庫）東の志津川と言われた真蛸の産地として名を馳せし当地も戦後三度の津波により、町全体が太平洋の藻屑と消えました。当時、川崎大宮をはじめ多数のロータリアンが来訪し、三陸地方に多数の御寄附を頂きました。
- ・佐藤幸一会員 阿部泰彦会員に代わってのゲストスピーカー遠藤さんにご期待いたします。
- ・江川元徳会員 台湾と日本の友好に万歳、特に南三陸町。
- ・八谷郁夫会員 南三陸町元副町長遠藤様、復興指導ご苦労様です。本日の来訪感謝致します。
- ・千葉吉男会員 アベ美装さんの代わりに遠藤前南三陸副町長さんのスピーチにご期待いたします。
- ・菅野幸一郎会員 河北新報社発刊の報道写真集「復興の歩み」大変好評で皆様に購入して頂きありがとうございました。まだ残りがありますのでご注文して下さい。本日のスピーカー前遠藤副町長さんを歓迎致します。
- ・菅原文之会員 遠藤健治前南三陸副町長の当クラブへの来訪を大歓迎して。遠藤さんとは永平寺以来ですネ！2人で夜通し話をした事がなつかしく思い出されます。以後の大活躍喜んでます。本日のスピーチ楽しみに来ました。

- ・佐藤静市会員 前南三陸町副町長遠藤健治様の来訪を歓迎いたします。未曾有の大震災に因る津波の被害の復興をスピード感を持って進められ、10年となりました。
- ・猪股育夫会員 東日本大震災では大変なご苦労され、南三陸町復興にご尽力された遠藤前副町長様に敬意を表し、歓迎申し上げます。
- ・熊谷敏明会員 本日のスピーチに期待いたします。
- ・高橋利光会員 ゲストスピーカーを歓迎いたします。
- ・山田正会員 本日の遠藤健治南三陸町前副町長の貴重なスピーチに御期待致します。
- ・富士原裕子会員 ゲストスピーカー南三陸町の遠藤様をお迎えし勉強させて頂きます。大歓迎！！
- ・杉田広仁会員 ゲストスピーカー遠藤氏を歓迎して。震災復興の思いを聞かせて下さい。
- ・佐藤早智子会員 復興にあたってのご尽力お疲れ様でございました。本日のお話楽しみに聞かせていただきます。
- ・及川富男会員 ゲストスピーカー遠藤健治様の貴重なお話をお聞きさせて頂きます。
- ・二階堂恭子会員 今日阿部泰彦会員のお話すごく楽しみにしていました。代わりに南三陸町前副町長遠藤様のお話、3月11日に関する大事なお話かも、いいお話よろしくお祈りします。
- ・後藤和人会員 本日のスピーチに期待します。
- ・佐藤敬喜会員以下 ゲストスピーカーを歓迎して。佐竹孝行会員 佐々木源悦会員 布施孝尚会員 岩瀬栄市会員 千葉正宏会員 森田峯男会員 以上、ありがとうございました。

会長要件 小野寺伸浩会長

3月中下旬です。本日は3月17日~19日までの3日間、東京お台場国際展示場で開催されております、ケアウィークという展示会に参加しており、リモートでの会長要件となります。

こちらは、桜も咲いていて春です。しかし、緊急事態宣言の為、飲食店は午後8時で閉店となり、夜食はコンビニ弁当という日々を送っています。その緊急事態宣言も3月21日で解除になるようです。

私は、3月16日に都内に入り、会場と千葉とったホテルの往復のみでどこにも行けておりません。展示会場への来場者も例年の半分で大変寂しい状況です。

本日は、10年前の震災時、南三陸町の副町長であられた遠藤様をお迎えしての例会です。遠藤様のスピーチに期待申し上げます。

幹事報告 及川昭宏幹事

- ・米山記念奨学会より
委嘱状、カウンセラーハンドブックが届く
佐々木源悦会員 米山奨学生のカウンセラー
 - ・登米保健所より
新型コロナワクチンの今後の出荷予定について
- ◎「委嘱状」の伝達
佐々木源悦会員 2021学年度奨学生カウンセラー



佐々木源悦会員へ、委嘱状の授与

今週のスピーチ

ゲストスピーカー
南三陸町前副町長
南三陸まなびの里いりやど
代表理事 遠藤健治氏

震災後の復興支援で大変お世話になりました。いつの日か皆様方にお礼を申し上げたいという気持ちをずっと持っておりましたが、なかなか機会がございましたが、今般、この様な機会を頂戴いたしましたので、お礼を兼ねてお話をさせていただきます。



ゲストスピーカーの遠藤健治氏

震災からまる10年になりました。この間、全国そして世界各国の大勢の方々から物心両面にわたる大変あたたかいご支援をいただきながら、町の復旧、復興を進めてまいりました。とりわけ佐沼ロータリークラブの皆様方には言葉で言い尽くせない程のご支援を頂いて参りました。当時は何もかもなくなり書類一枚ない状況の中で、どう町を立ち上げようかと思っておりました。志津川にゆかりの深い方々にあまえる形でいろいろなお願いをして参りました。自転車・自動車がほしい、プレハブの事務所を何とか調達できないか等、あれやこれやと物乞の毎日で今改めて考えてみますと

ほんとうに恥ずかしい思いしております。それでも皆様はそういった要望に対してこたえていただき、叶えていただきました。被災地の一人として心からお礼を申し上げます。ほんとうにありがとうございました。

登米市でも大変な被害があった中で、鱒淵、柳津等の地域をご提供いただき劣悪な一次避難所から、少しでも落ち着いた避難生活をするようにとご案内をいただきました。ピーク時には登米市内の11施設で700名を超える南三陸の町民が二次避難生活を送らせていただきました。

仮設住宅の建設を進める時に、最初に土地を提供していただいたのは横山の団地で4月に災害公益住宅の建設を終えることが出来ました。次に南方のイオン跡地を提供いただいて486戸を建設し被災者は平穏な生活を送らせていただきました。大変ありがたかったと思っております。

当時、全国各地から二次避難のオファーがあったのですが、漁村集落の方々はそれぞれに思いがあり、なかなか二次避難になりませんでした。横山、南方で二次避難生活をされた方々も、いろんな思いがあったようですが、2年、3年、4年と過ぎていくうちに、ほんとうに地域の方々に日々の暮しまで支えていただいて、自分の町の様に思えて来て大勢の方がそのままこの地域に根を張ったところがございます、ある意味で想定外のところがありましたが、道路が整備され短い時間で往来できる環境になったため、その様な選択をしたのではないかと考えております。

また、米山の方の病院施設を提供していただいたり、善王寺の小学校を提供いただいて戸倉の子供たちが学びをさせていただき、お礼の申しようもございません。大変お世話になりました。

南三陸町は、東日本大震災の前に昭和35年のチリ地震津波で大きな被害を受けております。以来一年も休むことなく常に防災訓練を行ってきており、津波に関しては相当高いレベルで危機管理がなされているという自負心がありました。併せて国から教えられた被災想定、長期評価に基づいて以前より増して町の防災減災をソフト、ハード両面から取り組んで来ました。先進的な防災システムを構築しながら取り組んできたのですが、今回の震災は不幸にも想定をはるかに超える大津波に襲われ残念ながら、人的被害も831名、211名が今なお行方不明でございます。町民を守る側の者として残念で、くやしい思いで一杯です。

10年が経ち、お陰様で町づくり計画は概ね完了ですが、一方で復興が進むにつれて色んな問題が顕著になってきております。コミュニティの再生、持続化の町づくり、エネルギー問題等々です。その中で、行政だけでなく「民」の方の発想で町づくりが進められてきているのはほんとうに素晴らしいことで、心強く思っております。町民と一緒にあってどの様に動かしていくかが課題となっております。今回の震災を通して気付きや学びをさせていただきました。人の命の大切さ、人の生きる力の強さを感じさせられました。

— 紙面の都合上、課題の詳細は割愛させていただきました。